

令和7年度 第2回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会議事録

開催日時：令和7年8月5日（火）午後1時30分～午後3時04分

開催場所：KTXアリーナ 2F 会議室3

出席者：村 良弘委員、岩田正武委員、西浦達郎委員、山田尚代委員、
櫻澤弘章委員、安藤善啓委員、植島禎一委員、横山史明委員
委員計8名

高田教育長 松本教育部長
事務局

欠席者：高橋 伸委員

傍聴者数：3名

委員長あいさつ

教育長あいさつ

議題

- (1) 地域クラブ活動試行実践募集チラシ（案）、地域展開推進に関する保護者周知文書（案）及び意向調査（案）の確認について
- (2) 今後の検討等及び実行部会への調査依頼について

会議資料

- 資料1 令和7年度江南市地域クラブ活動試行実践実施状況
- 資料2 江南市地域クラブ活動参加者募集チラシ（案）
- 資料3 江南市の運動部活動地域展開について（お知らせ）（案）
- 資料4 令和8年度2学期からの休日の学校運動部活動の地域展開・地域クラブ活動開始に向けての意向調査（案）
- 資料5 地域展開までの今後の検討等について（案）

議事内容

- 議題（1）地域クラブ活動試行実践募集チラシ（案）、地域展開推進に関する保護者周知文書（案）及び意向調査（案）の確認について

○事務局

資料1、資料2、資料3、資料4により説明

資料1は、第1回推進委員会に提出した、地域クラブ活動試行実践の実施状況表を7月21日現在の状況で更新したもので、現在も随時、生徒の応募を受け付けている。

先回ご質問いただいた不実施日の内容を付け加えて記載した。

資料2、3、4は、推進委員の皆様からのご意見と実行部会での説明を踏まえて、委員の皆様からいただいたご意見を反映して、修正をしたものである。事前に資料のお目通しをお願いしているので、再度ご意見を伺い、本日ご承認いただきたい。

資料の説明として、資料2は、実施中の試行実践について、下期からの参加を周知するため、学校を通して再度募集チラシの送付をお願いしていく。生徒が、より見やすく理解していただけるよう、文章とレイアウトを修正した。

資料3の保護者へのお知らせ文書内の若干の語句等の修正及び地域クラブ活動の理解を促すためのレジメも、トピックスのように見れるものとして出来るだけ簡潔な内容としたことと、特にメリットとしての③では修正前の「先生が生徒と向き合う時間が増えます」とした表現が勉強や進学の意味にとられてしまう、とのご意見をいただいたため、学校・地域・保護者等が一緒になって子どもの成長を見守る活動という意味として、「地域で新たなコミュニティが形成されます」との表現に修正した。

資料4では、令和8年2学期からの休日の運動部活動の地域展開実施に向けて、影響を受ける現小学校6年生と中学校1年生及び今年度試行実践の指導をお願いしている指導員等を対象とした意向調査を実施したいと考えている。新たな課題の整理、予算編成上必要となる参加者、指導員の人数の推計等の資料としていくことを目的としている。実施期間は9月1日（月）から9月10日（水）までとする。

委員からのご意見をもとに、修正前の設問から、児童・生徒向けの調査のQ2で、今年度の地域クラブ活動試行実践に参加していない生徒にその理由を聞くこと。Q3で参加している生徒に、参加種目は学校運動部活動と同じ種目か、違う種目か、また、複数の種目に参加しているかを聞くこと。Q6で活動場所の設定の考え方、Q8で地域クラブ活動についての自由意見をお聞きするよう、設問を増やした。

この調査の結果と諸課題への影響を分析したうえで、次回実行部会の議題とし、その検討結果を推進委員会に報告していく予定をしている。

配布と調査実施のスケジュールは、8月21日開催の校長会議にて、新学期開始早々に学校を通して募集チラシ、周知文書の配布及び意向調査の実施依頼をする予定をしている。なお、指導員向けの意向調査については、事務局コーディネーターから各指導員に依頼をしていく。

○委員

地域クラブ活動参加者募集チラシと運動部活動地域展開についてのお知らせのためのレジメは、カラーかモノクロか、どちらで配布予定なのか。

○事務局

地域クラブ活動参加者募集チラシは背景に薄い色を付けているが、地域展開についてのお知らせのためのレジメとともに、基本はモノクロとしている。

○委員長

予算の関係もあると思う。

配布の方法は紙面かデータ送信か、どちらで考えているのか。

○事務局

事務局としては、学校にデータを渡して、データにて送信をお願いしていく予定

をしている。

○委員長

周知が十分ではないのではないかとの意見もあるが、データで送信して、保護者に見てもらえるか。経費の問題もあるが、両方出すという考え方もあると思う。

○委員

学校では、データでのお知らせが基本となっている。

○委員

親の立場からは、データ、紙面の両方をお願いしたいと思う。

それとともに、地域クラブ活動試行実践の実施状況表に記載してある日程や活動場所についても、試行実践に参加している生徒しか分からない状況があるため、ホームページ等を使って工夫して周知していくことを考えた方がよい。

○事務局

参加募集チラシとお知らせの周知についてはモノクロとなるが、学校と連絡を取り紙面でも用意したい。

活動日程等については、市役所ホームページの各課のページ内に掲載をしていくことを検討する。指導員の意見を聞き、スケジュール等を周知できるようにしていく。

○委員長

募集チラシの裏面に各種目の日程等を記載してはどうか。

○委員

チラシに貼付された2次元コードを読み取ると、実施場所と日程が記載された要項を読み取ることができる。

○事務局

参加募集チラシもホームページ内に掲載していく。ホームページからも応募ができるようにしたい。

○委員長

生徒、保護者に対して親切に情報を提供していくようにお願いしたい。

○委員

ある中学校では、試行実践への参加生徒が少なく、事業の内容についても分かっていないことがある。まだ、学校内で周知が行き渡っていないと感じた。

○委員

教員側の反省点だが、きちんと教員が理解したうえで、生徒や保護者に説明をしていかなければならないことだと思う。

このことは、市内の校長の間で話し合いを持ち確認した。

チラシやお知らせについては、しっかりと周知を図っていききたい。

○委員

お知らせのレジメのイラストは明るい表情の子どもの絵を入れた方がよい。考えている表情であるのは分かるが暗いイメージを持つ。

○教育長

挿入するイラストについては、男女共同参画の観点から、男子と女子の両方を入れる様にしていききたい。

○委員長

それでは、意向調査についてのご意見をいただきたい。

現在は試行実践と部活動が並行して実施されているが、来年2学期から休日の運動部活動がなくなることになると、各種目には、どのくらいの生徒の参加が見込まれるか、来年度の予算編成をするうえで掴んでいく必要がある。

結果によっては、各種目のチーム編成にも関係していくので、大切な調査となる。

○事務局

今年度、中学校の運動部活動に入っている生徒は1, 581名である。意向調査の実施により生徒の来年度の方向性を掴んでいききたい。

○委員

参加希望者が少ない理由で、サッカーの試行がまだ実施されていない。野球に並ぶ人気スポーツなので、サッカーができるような体制を整えてもらえたらいいと思う。また、バスケットボールやバレーボールは、試合ができるよう複数のチームを作った方がいいのではないかと思う。

○事務局

サッカーは、下期で再募集をかけて応募状況を確認しながら、実施をしていく考えを持っている。

今回実施する意向調査の中に、地域クラブ活動の実施場所について考えを聞く設問を作った。種目により、各中学校で活動する生徒の人数と指導する指導員が確保できれば、各中学校で活動をしていくことも検討していききたい。

○委員長

古知野中学校は生徒数が多いので、単独で活動ができるかもしれない。人数の少ない学校は複数の学校で集めた方が指導員の人数のやりくりの面でもよいのではないかと思うが、そういうことも今後の検討となっていく。

○委員

今、部活動の地域展開については、子どもが主体となっていない感じを受ける。子どもが真剣に考えていない状況かもしれない。これから部活動の形が変わっていくが、是非地域クラブ活動に参加したいという意識を持つような呼びかけがあるといい。来年2学期から本当に休日の部活動は無くなって、地域だけでやっていくの

か、大会への出場はどうなるのかが、はっきりと示されていないのではないか。目標の来年2学期までには、もう時間が無いので、子どもたちが自分の問題として考えられるよう、教育委員会や推進委員会の意向を表してもいいのではないか。子どもたちが自分の問題として捉えられるような質問にした方がいい。学校でも、子ども達に、状況を伝えていくようにしないと答えが出ないのではないか。

例えば活動場所の考えについて等で、現状を変えることができないことについての質問は避けた方がいいのではないだろうか。具体的に令和8年2学期からは、こうするという事ははっきりと言えればいいが、まだ決まっていないことがあるので難しいと思う。現実にある問題と事務局の気持ちは分かるので、こういう活動にしていくので是非参加してください、という思いが伝わる調査になればいいと思う。

○事務局

活動場所の考えを聞くことについては、以前から通学する学校以外の学校を活動場所とすることについて、移動の問題や保護者の送迎の不安等の意見を聞いていた。できれば、通学する学校で希望種目があれば、参加する人数が増えるのではないかと、という意図があり、意見を聞いてみたいと考えた。

希望種目が通学する学校で活動する場合は参加しますか、という様な言い方に変えて聞きたいと思う。その結果、そうであれば参加したい、という意見が多くなって各学校で活動が可能な種目ができれば、その種目の指導員の確保のこと等について事務局で考えていきたい。

なるべく生徒の希望に沿った形で活動できるようにしていきたいと思う。

○委員

調査を基に、種目と実施する会場を検討して、結果よっては各学校で実施する種目ができるかもしれないという意味として捉えたい。

○委員長

この事業のスタートは、今後の少子化により単独の学校で部活動を維持していくことが難しく、その受け皿として市内の中学校合同で地域クラブ活動を行っていく、としたことであった。その中で、希望の多い種目によっては、複数のチームを作って活動することもあるが、基本は拠点校での活動とすることが前提であった。しかし、各学校で活動ができるくらい的人数が集まればよいと思うが、それが地域展開の考えに合うのか、柔軟に検討していく必要がある。

○委員

子どもの種目選択については、今後のマルチスポーツを考えていくうえでも自由な選択でいいのではないか。活動場所については、子どもと保護者のコミュニケーションの中で考えていけばよいと思う。通学する学校での活動とかの縛りはあまり考えなくていいのではないか。

○委員

アンケート調査は今後も続けていくことになるか。今回の調査で希望を聞いて、分析をしたうえで、考えをまとめて再度の調査していくことになると思う。これまでの種目や活動場所等の考えを修正して地域展開を実施していくこととしていくこ

とになれば、また意見を聞くことになるので、今回の調査はこの内容で、特に問題は無いと思う。

○委員

試行実践の各種目でバスケットボールは女子だけの募集と明記があるが、軟式野球やソフトボール等は男子、女子の両方の応募が可能なのか。

○事務局

基本的に現在の中学校部活動の分類に沿って募集をかけている。

○委員

ソフトボールは男子、女子で分けているが、軟式野球は女子が入ってもいいようになっている。大会への出場も可能である。

○委員

そうであれば、バスケットボールは指導員の意向を含めて女子のみで実施し、他の種目は男子、女子どちらの参加も可能です、との説明があればいいと思う。

○委員

募集チラシに男子、女子の参加が可能である、女子のみの募集であるという分類が分かる表記とした方がいい。

○事務局

募集チラシに明記していくことは可能であるが、指導員の方針もあるため種目別に指導員に、男子、女子合わせて指導が可能なのか確認したうえで表記したい。

○委員

まだ江南市でこうしていくという形を検討している段階なので、場所や種目等について、子どもたちや保護者のニーズを聞いて、来年度から見直す点は見直していけばよいと思う。部活動の延長と考えると、制約が出てくると思う

意向調査について、小学生と中学生は分けて聞いた方がいいと思う。その中には、来年度各中学校に何の種目の部活動があるか、を分かるように記載して、そのうえで地域クラブ活動の種目を記載して、希望を取っていただきたい。

○事務局

意向調査については、いただいた意見に従い、各中学校で実施される部活動種目を表にして貼付することとしたい。

○委員長

議題（１）は、この程度として、委員からいただいた意見を反映したうえで、承認を得たこととしていきたい。

次に議題（２）に移る。

事務局から説明をお願いしたい。

議題（２）今後の検討等及び実行部会への調査依頼について

○事務局

資料５により説明

資料５は、第１回推進委員会の資料として提出した課題と、これまでの議論の中で抽出した課題について、地域展開実施までに、ひとつひとつの課題の検討に取り掛かるための材料として、事務局（案）をまとめたものである。

今後、実行部会で検討を進めて、検討内容と結果を推進委員会に報告し、さらに推進委員会で協議のうえ、江南市地域クラブ活動の方向性を定めていきたいと考えている。

表の一番左の欄の１から６までの課題は、第１回の委員会資料の中で説明した事項である。その他の課題は、これまでの委員会等の議論にあった、検討していくべき課題を加えて挙げている。

その右欄に、各課題について、現在の江南市方針及び推進計画、例規等の中での位置付けを示している。

続いて「検討・研究を進める事項」については、今後、それぞれの課題について検討・研究を進めていくべき事項を挙げている。

その検討を進めていき、「方針変更（案）・対策の内容（案）」の欄に、これからの議論のたたき台とするための事務局案として、地域展開開始までの対策とそれに伴う、現在の江南市の方針の変更について、これまでの試行実践等を踏まえてまとめた。

実行部会、推進委員会で検討を進めて、市が目指す形を決めていくため、皆様からご意見をいただき、再度整理していきたいと考えている。

今後の検討の進捗については、児童、生徒及び保護者に対して、分かり易く十分な周知をしてお理解を得ていくとともに、検討結果を反映して江南市の方針の改正と次期推進計画の策定に取り掛かかり、公表に向けて準備をしていきたいと考えている。

令和８年２学期の地域展開開始の目標時期までに、これらの課題を検討して、持続可能な活動としていく筋道を明確にしていく必要がある。限られた期間の中で、スピード感を持って検討をしていくことになるため、これからの推進委員会は、非常に重要なものとなる。

資料にある、それぞれの課題の細部については、これからの実行部会で検討を進めていく。本日は内容の確認と、資料中の課題及びそれ以外の事項について、実行部会に調査を依頼していくべき事項を、ご意見としていただきたい。

○委員長

これまで議論を進めてきた中であがっている課題と新たに検討の必要があると考える課題について、今後の実行部会でそれぞれを議論して、この推進委員会に報告がされていくことになる。この資料の内容について、ご意見いただきたい。

○委員

受益者負担の件で、現在、就学援助等を受けておられる家庭への対応や補助等についても検討していく必要があるのではないかと思う。

○委員

昨年の検討委員会の中でも、給食費等の補助を受けられている家庭への補助について、考えていけたらいいという話が出た。引き続き検討していくべきことだと思う。

○委員長

就学援助については教育課で行っており、その項目の中に入れていくかどうか、また、その担当課として、教育課かスポーツ推進課が対応していくかについても、実行部会で検討していただきたい。

○事務局

実行部会委員には、教育課長も入っているので、検討していきたい。

○委員長

できるだけ多くの子どもが参加できる体制がつけるといい。

○委員

持続可能な社会活動としていくため、スポーツ団体や市内企業への周知をしていくことについて、市内企業への周知は、どのようなイメージを持っているのか。

○事務局

昨年度まではスポーツクラブ江南を運営主体として、部活動の地域展開に地域の活力を取り入れて、地域で子どもの活動を応援していくという考えで、指導員の登録や各種サポートをお願いする等、連携、協働して事業を進めていくための準備をしていた。事業の周知をしていくための市内企業のリストも作成している。

今年度から運営主体が市に変更されたこともあって保留となっているので、実行部会で検討を加えて、来年度に向けて江南市の取組を周知して、ご理解と何らかの協力体制や連携ができていけば、と考えている。

○委員

地域クラブ活動の大会参加という点で、中学校としては、部活動顧問と地域クラブ活動指導員との顔合わせと打合せ会を早い時期に開催して欲しい。

中体連の大会以外でも民間等の大会もあるので、出場機会を逃すことは避けたい。

競技種目ごとに登録や手続き等、動き出すタイミングが違うので、顧問と指導員が打合せをして情報収集をしていけばよいと思う。

○事務局

早い時期に、種目ごとの打合せをして情報共有ができるよう調整する。

○委員長

指導員の研修会等の機会もあると聞いているので、その中でも打合せする時間をとっていただき、意見交換できるといい。部活動顧問と指導員との指導方法が違うと、子どもも戸惑うので、連携ができるよう進めていただきたい。

次のその他について、お願いしたい。

○委員

報告であるが、先日中学校の校長5人が集まって、部活動の地域展開について話し合いを持った。

子どもの目線で考えて、来年度から休日の地域展開が開始されると、フリーの時間が急に増えてしまうことは懸念があるため、土日の活動を段階的に減らしていく考えを持っている。そのうえで、子どもに土日の時間の使い方を考えてもらうようにしたい。

また、種目ごとに部活動と地域クラブ活動を一つに考えられるよう、それぞれの活動を表にまとめて、保護者に配布していく。その表を見て保護者と子どもがそれぞれの動きを考えられるようにしたい。子どもが困らないように配慮したい。

地域展開がスムーズに進むように、そのようなことを校長の間で話した。

これまで、中学校の中でも話し合いが十分ではなかったと感じる。部活動については、地域と協力して徐々に地域にお願いして移行していく方向で考えている。

○事務局

これからは中学校と密に連絡調整をしていかなければ、地域展開は進まないと思っている。学校、指導員、行政が連携していきたいので、よろしく願いしたい。

それでは、委員の皆様には本日の議事の正確な公表のため、事務局にて調製後、ご確認いただくので、よろしく願いしたい。

また、次回の実行部会を9月下旬で開催し、その協議を踏まえて、次回の推進委員会を10月中旬に予定したい。後日に日時を通知するので、ご参集願いたい。

○委員長

今後の地域展開の推進のため、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進員にも、指導員の協力及び生徒の希望を聞いたうえで新規種目の設置等についてもご協力願ひ、市全体で一体となって事業を進めていきたいと思う。

○委員

地域展開の比較資料として、他市の情報も知りたいと思う。

○委員

スポーツ庁のホームページから、事例等の情報を知ることができる。

○事務局

県内で進んでいる市の事例を拾って、次回に参考資料として提示したい。

○委員長

この地域展開は、いろいろな課題があって、他の自治体もなかなか進んでいないのが現状であると思う。

江南市は、来年9月を目標としているので、課題を整理して進めていきたい。

長時間に渡り熱心にご議論をいただき感謝申し上げます。

これをもって、令和7年度第2回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会を終了する。